

2018年1月13日

市民センターを考える市民の会

市民センターの増改築について

1. 市民センターを考える市民の会（以下、「市民の会」という）の活動

(1) 2012年「市長と語る会」で狛江市から市民センターの増改築案が提案されましたが、多くの市民の反対を受け、市長の英断で撤回されました。

2015年2月15日、市民の会は、狛江市と「市民センター改修計画書作成に関する協定書」を締結し、2016年4月6日に『狛江市民センター（中央公民館・中央図書館）増改築に関する市民提案書』（以下、「市民提案書」という）を高橋都彦狛江市長に提出しました。

(2) 「市民提案書」の骨子は、次の3点です。（別添ダイジェスト版参照）

- ① コミュニティ・スペース新設～すべての市民に開かれた憩いの場～
- ② 人がつながる公民館～部屋数増、青少年の居場所づくり～
- ③ 暮らしを豊かにする図書館～スペース：3.6倍、蔵書2倍でゆったりと～

2. 狛江市の対応

「市民提案書」を受け、狛江市は2016年9月5日に日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社（以下、NCMという）に市民センター増改築等調査委託業務を発注しました。2017年5月31日 NCM から「市民センター増改築等調査委託調査報告書」が狛江市に提出されました。

3. NCM調査報告書の内容と課題

NCMは、市民提案書も考慮して5つの増改築案を提言したとしていますが、市民の会提案の木造縦増築とは異なっています。それぞれの案の主要な違いを別添のNCM調査報告書内容比較表に示します。とくに、③案、④案は別敷地に分散配置され、活動しにくくなると予測できます。市民センターを利用されている皆様に比較表をご覧いただき、良いアイデアをお願いしたいと思います。

4. 木造縦増築について

市民の会が提案しているのは、安くて早いCLT（Cross Laminated Timber）による木造縦増築案で、既存の建物を使用しながら増改築ができるというメリットもあります。

既存の建造物に木造建築による縦増築の事例がなく、安全、安心の点から狛江市は問題ありと考えています。市民の会では安心、安全を立証すべく専門家の協力を得て鋭意検証中で、十分に実現の見込みありと考えています。

以上